奄美地区建築業災防協議会総会

新会長に嘉川氏

嘉川　隆晴新会長

奄美地区建築業災害防止対策協議会（雪俊一会長）は11日、名瀬市の奄美観光ホテルで通常総会を開き、新年度事業計画などを決めたほか、任期満了に伴う役員改選では新会長に嘉川隆晴氏（丸久建設㈱）を選任した。

冒頭、雪会長が「今年度も無事故無災害に向け、また働きやすい労働環境を作るよう努力しよう。日頃の健康管理にも心掛けてもらいたい」と挨拶した後、優良事業場表彰があり、9社が表彰を受けた。これを受け、代表して㈲山口建設の山口秋良代表取締役が「受賞は諸先輩や後輩のお力添えによるもの。我々の仕事は常に危険を伴うが初心を忘れず、これからも無事故無災害に努める」と感謝の辞を述べた。

来賓祝辞に続いて、議長に雪会長を選出し議事に入り、13年度事業報告並びに収支決算、14年度事業計画・収支予算案等を審議、全て原案通りに可決承認。任期満了に伴う役員改選では新会長に嘉川氏を選任した。

新役員、優良事業場表彰は次の通り。

【新役員】会長＝嘉川隆晴（丸久建設㈱）▽副会長＝松元利道（㈱松元組）【優良事業場表彰】㈱伊勢産業土木　㈲岩元組　静島建設　大宏アルミ㈲　土佐建設　日生開発㈱　㈲平島建設　㈲山口建設　㈱和田建設

平成14年度
奄美地区建築業災害防止対策協議会
定例総会

優良事業場表彰も行われた総会
＝名瀬市の奄美観光ホテルで

姶良町建設業協会等

海開き前に清掃

姶良郡姶良町の重富海水浴場で12日、観光協会（櫟山一男会長）、同町建設業協会（橋口一二三会長）及び二世会、NPO姶良（谷口実一会長）、姶良町商工林政課職員ら総勢150人による清掃作業が行われた。

この清掃作業は、6日に予定されていた錦江湾クリーンアップ作戦が台風の接近により中止になったことから、18日の海開きを前に実施されたもの。

午前8時、海岸に集合した参加者を前に、櫟山会長が「早朝からたくさんのご参加、ご協力をいただき、まことにありがたい。事故やけがのないよう、安全には十分配慮して作業してください」と挨拶し、早速作業を開始した。

当日は曇り空とはいえ無風の蒸し暑い天候だったが、参加者は流れる汗をものともせず、駐車場に茂った雑草や潅木をチェーンソーで払ったり、空き缶や花火の燃えかすなどのごみ拾いなどにもくもくと取り組んだ。

また作業には4㌧ダンプ、2㌧ダンプ計10台のほか、㈲姶良衛生、㈲廣栄建設が提供したパックマスターが活躍し、ごみや雑草で一杯になったごみ袋を満載して、集積場と海岸を何度も往復していた。

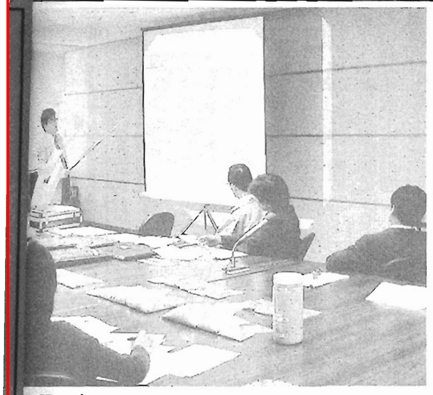
熱心な作業で見違えるように美しくなった海岸に、参加者は「これで海水浴客が気持ち良く過ごせる」と満足げだった。

熱心に作業する参加者
＝姶良町の重富海水浴場で

シラス瓦の実用化に成功

県内初　共同で特許出願

県工業技術センター　瀬戸口瓦工場



シラス瓦の特長の説明が行われた記者発表＝隼人町の県工業技術

県工業技術センター（水元弘二所長）と㈲瀬戸口瓦工場（瀬戸口一郎社長、薩摩郡鶴田町）は12日、隼人町の同センターで、シラス瓦の開発に初めて成功し、県と㈲瀬戸口瓦工場で共同特許出願、新開発したシラス瓦の展示と県内で初のシラス瓦施工事例紹介等を発表した。

現在、シラスをコンクリート用細骨材として利用する研究が進められているが、シラスは、「細かい粒度」「高い吸水率」「低比重」「粒子形状が角張って

しての4大欠点を持つため、従来の方法では実用化が困難となっていた。

県工業技術センターと㈲瀬戸口瓦工場は、昨年4月から共同でシラスを細骨材として活用した瓦の研究を進めてきたが、今回、シラスの4大欠点を克服する成形方法として、加圧脱水成形法が適していることを見出し、これにより、シラス台地を形成している普通のシラスを細骨材として

を行い、初めて実用化に成功し、共同で特許出願した。

特徴としては、軽量で断熱性が高く、屋根施工時の負担が軽減され、現場加工が容易でで、防災性にも優れている。コスト面でも運搬も安くなり、従来品に比べ、10%のコストダウンが可能。

現在までに、県内で初めての新築屋根施工と屋根リフォームの実績があり、関係者の注目をあびている。

カーネギー産業安全大会

安全管理の充実を

㈱カーネギー産業 安全大会

向こう1年間の無事故無災害を祈った大会
＝鹿児島市の一本桜温泉センターで

㈱カーネギー産業（平石宣吉社長）は12日、鹿児島市の一本桜温泉センターで14年度安全大会及び安全協力会総会を開き、向こう1年間の無事故無災害を祈ると共に協力会の団結を深め躍進することを誓った。

安全大会では、平石社長が一年を通じ災害のない職場づくりを、と前置きし「出席された皆さんの財産や生命を脅かす災害、事故が発生しないよう大会を機に再認識してほしい。また、協力業者、社員一体となった安全管理の充実を」と挨拶、協力会の福永勝男㈲福永組社長が「安全に対する意識をこの大会で高めてほしい」と呼びかけた。

続いて、安全基本方針の発表、安全講話、ヒヤリ・ハット事例発表、表彰（安全標語・ポスター他）、安全宣言などが行われ、安全に対する認識を深めるとともに無事故無災害で明るい職場づくりを目指すことなどを誓った。

同日は、協力会の福永社長を議長に安全協力会の総会も行われ、要望、要請、改善事項などの質疑応答や審議があった。

エス・エム・エスコーポレーション総会

結束力と意思疎通を

㈱エス・エム・エスコーポレーション（松ノ尾正隆社長、本社・鹿児島市）の安全協力会（会長・伊藤文典㈱伊藤電設社長）は12日、鹿児島市のベイサイドガーデンで14年度（第8期）総会を開き、現場の安全パトロールの実施などを柱とする新年度事業計画を決めたほか、会長退任に伴う役員改選では新会長に遠矢勝弘副会長（㈲法正建設）を選出した。

総会の冒頭、遠矢副会長（伊藤会長代読）が「建設業界は依然として厳しい環境下にあり、我々は一層の経営合理化に努め、乗り切っていかねばならない。結束力と意思疎通を図り、安全・施工・品質管理に努め、顧客にますます信頼されるよう頑張っていこう」と

続いて、議長に高代福吉氏（幸国工業㈱）を選出し議事に入り、13年度事業・会計報告、14年度事業計画・予算案などを審議し、全ての議案を執行部原案通り可決承認した。また、会長退任に伴う役員改選では新会長に遠矢副会長、副会長に奥光洋氏（㈲奥建具製作所）、監査役に西田久俊氏（㈲マルカネ商会）を選出した。

また、総会終了後に同安全協力会の会員ら多数が参加して安全大会が開催され、参加者は改めて初心に返り、今年1年の無事故無災害を誓い合っ

第8回
SMSコーポレーション 安全協力会 安全大会
SMSコーポレーション

安全協力会の新役員等も決められた総会
＝鹿児島市のベイサイドガーデンで